

Library Club

第2号 佐賀県立唐津東高等学校・中学校図書館

令和3年11月



夏休みから10月にかけて、図書館主催の行事がいくつかありました。まずは、1・2年生全員が書いた**読書感想文とその審査**です。各クラスから出された優秀作品の中からさらに優秀なものを「第41回全国高校生読書体験記コンクール」に2作品、「第67回青少年読書感想文コンクール」に7作品を出品しました。その結果、県で最優秀賞を獲得するなど素晴らしい結果をいただいています。詳細は以下の記事のとおりです。

また、先月は**鶴城ビブリオバトル**を開催し、ホームルームの時間には各クラスでバトルを行いました。どのクラスでも活発に発表ができていたようです。その中から、能美日和さん(1-6)と岡本陽くん(2-5)は学校代表として12月の県大会に出場します。県大会では5分間の発表となりますが、2人の健闘を祈りたいと思います。各クラスからの代表者は以下の記事のとおりです。

そして10月28日には、**芸術鑑賞会**が開かれ、全校生徒が午前と午後に分かれて、狂言を鑑賞しました。普段なかなか接することの少ない芸術分野ですが、分かりやすい説明と共に、狂言の神髄の一端に触れることが出来たのではないのでしょうか。

さらに、10月後半には**図書館まつり**を開催しました。普段以上に多くの人に図書館へ足を運んでもらい、図書委員のおすすめの本や、展示を楽しんでももらえたと思います。

図書館には毎週のように新刊が入荷されています。昼休みや放課後に少し図書館に立ち寄って、話題の本やおすすめの本をチェックしてみてもはどうでしょうか。



鶴城ビブリオバトル各クラス代表者と紹介された本

ここに紹介された本はすべて図書館(特設コーナー)に揃えています。

1年1組	吉田ももか	『西の魔女が死んだ』	梨木 香歩 著
1年2組	小山 大智	『仮面山荘殺人事件』	東野 圭吾 著
1年3組	前田 稜拓	『記憶屋』	織守きょうや 著
1年4組	松本 莉奈	『学校クエスト ぼくたちの罪』	中松 まるは 著
1年5組	松本 珠希	『アウシュビッツの歯科医』	ベンジャミン・ジエロプス 著
1年6組	能美 日和	『ミライユウム』	水沢 秋生 著
2年1組	曾山 葵衣	『西の魔女が死んだ』	梨木 香歩 著
2年2組	藤井 葉翠	『WONDER』	R. J. パラシオ 著
2年3組	米倉 萌里	『蜜蜂と遠雷』	恩田 陸 著
2年4組	下尾虎太郎	『手紙』	東野 圭吾 著
2年5組	岡本 陽	『駆逐艦キーリング』	セシル・スコット・フォレスト 著
2年6組	松永 天馬	『星の王子さま』	サンテグジュペリ 著



各種「読書感想文コンクール」の結果について（発表順）

○ 第45回〈こんな本読んだよ〉コンクール〔佐賀県親と子の読書会協議会主催〕

佐賀県読書推進運動協議会長賞（第3席：1名）

小松 那奈（1年2組）「私だけの舟」（『舟を編む』三浦しをん 著）

※本校からは1年生の春の課題作文の中から8作品を出品しました。

○ 第41回全国高校生読書体験記コンクール〔公益財団法人一ツ橋文芸教育振興会主催〕

県入選（第2席：4名）

岩田 唯楓（2年1組）「多様性にあふれる社会」（『家族だから愛したんじゃないくて、愛したのが家族だった』岸田奈美 著）

県入選（第2席：4名）

吉田 ももか（1年1組）「家族の愛」（『そしてバトンは渡された』瀬尾まいこ 著）

※本校からは1・2年生の夏の課題作文の中から上記2名の2作品を出品しました。

○ 第67回青少年読書感想文コンクール（応募総数 7316 編）〔佐賀県学校図書館教育研究会主催〕

最優秀賞 自由読書（第1席：1名）

安田 愛実（2年6組）「『夜と霧』に差す光」（『夜と霧』ヴィクトール・E・ فرانクル 著）

最優秀賞 課題読書（第1席：1名）

福山 陽菜乃（1年2組）「“好き”を紡ぐ」（『水を縫う』寺地はるな 著）

◎安田さんと福山さんの作品は、県の代表として全国審査に出品されます。

優秀賞（第2席：3名）

小松 那奈（1年2組）「認めることの大切さ」（『きみの存在を意識する』梨屋アリエ著）

優良賞（第3席：12名）

向野 誠（2年6組）「エゴは罪か」（『こころ』夏目漱石 著）

佳作（第4席：21名）

田畠 涼香（2年3組）「命、生と死」（『余命10年』小坂流加 著）

※本校からは1・2年生の夏の課題作文から7作品を出品しました。

今回受賞した皆さんの作品を、**図書館前に掲示**しています。どれも素晴らしい感想文です。図書館まで足を運んで、ぜひ読んでみてください！（上記の本はすべて図書館に揃えています。）

